



# 安全・適正就業だより

第 20 号

平成 27 年 11 月 20 日

\*\*\*\*\*

## 巡回視察報告

### ・・・事故0を目指して・



10月5日、秩父市「井の尻団地」の清掃作業（家事援助班）現場を巡回致しました。班長さんを含め、3人の会員が手際よく作業を行なっていました。内容によっては、例えばアルミサッシの取り外し方、電気関係の知識、清掃

用具の使い方など、経験と知識の習得が必要である。また、長期間家を空ける場合、昼の日焼け防止のために新聞紙を敷いて（載せて）置く時は、日を通してしまうので、少なくとも2～3枚が必要であることなど経験に基づく貴重な話がありました。



## 草刈機事故(安全だより 10月号掲載)後の話し合い結果報告

去る8月20日発生した事故について、9月7日の安全委員会において協議した結果を踏まえ、9月14日午後4時から約1時間半にわたりクラブハウスにおいて、安全委員会から委員長以下3名、事務局職員と事故当時作業を行っていた8名の皆様にお集まりいただき、なぜ事故が起こってしまったか等について、話し合いを行いました。



事故が起こったのは、作業前に残っていた一台の車を移動してもらったが、移動先が作業現場近くだったため、防護ネットを張って作業を行ったが、ネットの張り方が不十分だったため事故を起こしてしまった。反省点としては、小石の飛ばないところへさらに移動していただくか、ネットの張り方を工夫すべきであったということです。

長時間にわたり話し合いを行い、それぞれの皆さんから反省の言葉等が聞かれ、今後、十分に注意して作業に臨んでいただくことになりました。

後日、皆さんから作業当時の見取り図と反省文をご提出いただきました。今後の事故防止のための資料として参考にさせていただきます。

ご協力に感謝し、報告といたします。

木村 清

## 事故報告

ありません。ヽ(^o^)

# 27年度安全就業推進大会から

安全就業ニュース埼玉トピックスより（全シ協）

基調講演をされた後藤誠一先生が、「過ちは人の常」であり、傷害事故を防止するためには、復唱、ダブルチェック、指差し呼称、相手に分かり易く話をしたり分かり易く示すなどの工夫が必要である。また、危険な仕事は断る（受けない）ことも必要である、会員同士がお互いに注意し合える風土づくりが大切であると話されました。どんなベテランでも、どんな熟練者でも事故を起こす可能性があります。安全意識を強く持ち、自らこれらのことを実行することが大切であるということでしょうか・・・。



高齢者の生きがいの充実、健康の増進及び社会参加の促進を目的としたシルバー事業の推進においては、「安全・安心」の確保が最優先の課題です。しかし、残念ながら今年度も既に多くの事故が発生しています。役職員や会員一人ひとりが安全就業の重要性を認識し、安全意識を高め、安全就業の推進に努めていただきますよう、重ねてお願い申し上げます。

.....

## 全シ協安全就業標語入選作品より

月刊シルバー人材センター7月号より

- ・慣れた作業に見えない危険 むりせず焦らず安全就業
- ・これくらい 慣れた気持ちにひそむ事故
- ・大丈夫 油断と過信が事故のもと 初心に戻って安全就業
- ・生きがいも 楽しい作業も無事故から
- ・身に着けよう 安全防具と安全意識



////////////////////////////////////

自転車事故による死亡者のうち、約72%が頭部の損傷が原因です。

## 自転車に乗る時は、ヘルメットを着用しましょう

////////////////////////////////////

### 編集後記

何時も「安全だより」を読んでいただいて有り難うございます。このたよりは、会員皆様が安全に就業できるように、参考になることを掲載しています。発生した事故の報告、巡回視察の報告、シルバー活動の様子などを一つの例として捉えていただき、自分の安全就業に役立てていただけたら有り難いです。

皆で事故のない秩父市シルバー人材センターを目指しましょう。安全に対するご意見、体験などをお聞かせください。お待ちしております。

////////////////////////////////////